



えんじゅ

春日市立春日小学校
校長室便り No.15
令和5年12月18日
文責：校長 福島

キャッチボールしようぜ！



「野球しようぜ！」というメッセージとともに、ドジャースへの移籍が決まった大谷翔平選手からグローブが贈られます。

私には、大谷選手にはプレイは到底及びませんが野球愛では負けない3人の子供がおりまして、小さい頃はよくキャッチボールをしたものです。グローブ寄贈のニュースを知った11月、衝撃と感動とともに、わくわくするひらめきがありました。

「寄贈グローブを子供たちに使わせ、かすがっ子全員とキャッチボールをしたい。」

キャッチボールしようぜ！

～大谷選手からもらったグローブで校長先生とキャッチボールをする取組～

ニュースが流れた翌日、春日市教育委員会に「全国で1番にグローブをもらえるよう頼んでくれ」という無茶なお願いをしました。さすがにこれは無理でしたが、早い時期に贈られるよう希望はしてくれました。1月中には届くのではないかと考えています。

わくわく感は膨らみます。6年生に、道徳の時間を使って大谷選手の願いについて考えさせ、全校にプレゼンさせます。きっと夢や希望をもつことの大切さといった思いに気づくはず。ボールと言葉のキャッチボールがしたいです。



「私は大谷選手のようなカッコいい大人になりたいです。」

「ありがとうございます。」

「素晴らしい夢だね。きつとなれます。」

「応援しています。」



2月～3月の昼休みに1学級ずつ行います。お時間に都合がつかう方は見に来てください。グローブが贈られてきたら詳細についてお伝えします。

心配なのは、682人相手に私の肩が壊れないか…。

プレゼントを待つ子供のように、私も大谷選手からのグローブが届く日を、まだかまだかとわくわくしながら待っています。